平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		114	38		-76
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	114	38		-76

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境を充実する。

事業開始の背景・経緯

　少子化の影響を受け、児童生徒数の減少が進み、学校の小規模化、複式学級の出現など地域の状況により、学校規模、学習環境がアンバランスな状態であることから、学校規模の適正化を図り、活力ある教育環境を整える必要がある。

事業概要

○有識者会議の開催　0円　保育教育環境検討会議　0回

○現状認識のための関係者への情報提供　38千円

　基本方針を策定し、各小中学校ＰＴＡに配布したほか、市ホームページで公表

　小中学校の適正規模・適正配置に関する理解の深化を図るための学習会等を実施

担当部署	51100000　教育委員会　教育企画	担当課長	小原　賢史

意見・要望等の状況

・平成30年度笹間地区統一要望
　西南地区の児童・生徒数が減少している状況にあり、学校統合に当たっては、花巻市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針の趣旨に沿い、西南中学校区内の教育環境の整備が適時適切に行われることを要望する。
・H30.10.24亀ヶ森地区市政懇談会 本当に児童が少ない。早く大迫の小学校を一つに統合してほしいと思う。

事業手法の詳細１

小中学校学区再編成調査事業

１.現状認識のための情報提供
　平成30年度まで
　　①「児童生徒数の推移と今後の見通し」をデータ化
　　②情報提供先（市議会議員、区長、コミュニティ会議代表者、校長、ＰＴＡ）に配布
　　③情報提供先から関係者・団体へ伝達
　令和元（平成31）年度
　　①「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針」策定
　　②市ホームページで公開
　　③ＰＴＡに配布
　　④学習会等の参加者に配布

２.保幼小中の全体的な保育教育環境の整備
　保育園・幼稚園、小中学校児童生徒の保育・教育環境について課題を共有し、園や学校の在り方について検討する会議を開催する。（保育教育環境検討会議）※令和元年度は開催実績なし

　H27　保育教育環境検討会議の設置及び開催（3回　9/4、12/3、2/24）
　H28　中学校区を4つのブロックに分けてワークショップ（WS）を開催し、情報提供、課題共有、意見交換
　　1回目（11/4・7・10・16）、2回目（2/2・3・6・7）
　　保育教育環境検討会議（2回。WS開催前8/25、WS中間報告1/19）
　H29　ワークショップを開催、意見交換　3回目（5/28 AM・PM）、4回目（8/28・29）
　　保育教育環境検討会議開催　（3回。WS中間報告5/24、8/24、WS結果報告2/15）
　H30　「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針（案）」について説明
　　議員説明、保育教育環境検討会議開催（2/14）、教育振興審議会での審議
　　市民説明会（PTA等保護者関係者、地域関係者）10月に11会場で開催。延べ213人参加
　　出前学習会（PTA、保護者会、地域関係者）12月から1月に12会場で開催。延べ244人参加
　H31　教育懇談会開催
　　7月から3月にかけて14会場で開催（小中学校11回、地域関係者3回）
　　延べ401名（小中学校345人、地域関係者56人）
　　児童生徒の保護者等と学校教育における課題などを意見交換

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104020	私立高校振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,240	3,240		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,240	3,240		0

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

私立高校は公教育の一環を担うという大きな役割を果たしてきており、市としては私学の自主性を重視しながら、私立学校の教育条件の維持・向上を図るため私立高校への助成を行ってきた。

事業概要

○私立高校振興事業補助金　3,240千円

私立学校の振興に寄与するために補助金を交付する。

担当部署	51100000　教育委員会　教育企画	担当課長	小原　賢史

意見・要望等の状況

・平成28年第3回花巻市議会定例会において「私学教育の充実・発展を求めること」の請願あり
　→一部採択

事業手法の詳細１

【補助金交付の必要性とその効果】
私立高校の役割：（1）公教育の一端を担う（2）多様なニーズに応じた教育研究の推進

広く高等教育の機会を提供している一方で、学校運営に膨大な費用を要する
地域における人材育成、教育条件の維持向上を図るために支援は不可欠

補助金交付により、教育環境充実が図られ、市教育振興に資する

【事業概要】
　学校教育における私立高校の果たす重要な役割に鑑み、教育環境整備の充実を図ることにより、もって本市教育の振興に資するため補助金を交付する。

【事業内容】
対象校　　花巻東高等学校
補助金額　　3,240千円
補助内容　　運営費補助
補助金交付基準　定額

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		416	288		-128
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	416	288		-128

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成31年度　～　平成31年度

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めるうえで、奨学金制度を有効に活用した事業実施の検討が必要になったため。

事業概要

○ふるさと保育士確保事業補助金　169千円
　市内認可保育園で勤務している保育士に奨学金の返還金の半額を補助

○ふるさと奨学生定着事業補助金　96千円
　市内大学を卒業後に市内に居住している者に奨学金の返還金の半額を補助

○上記２つの補助金交付事務費　23千円

担当部署	51150000　教育委員会　学務管理	担当課長	佐々木　晋

意見・要望等の状況

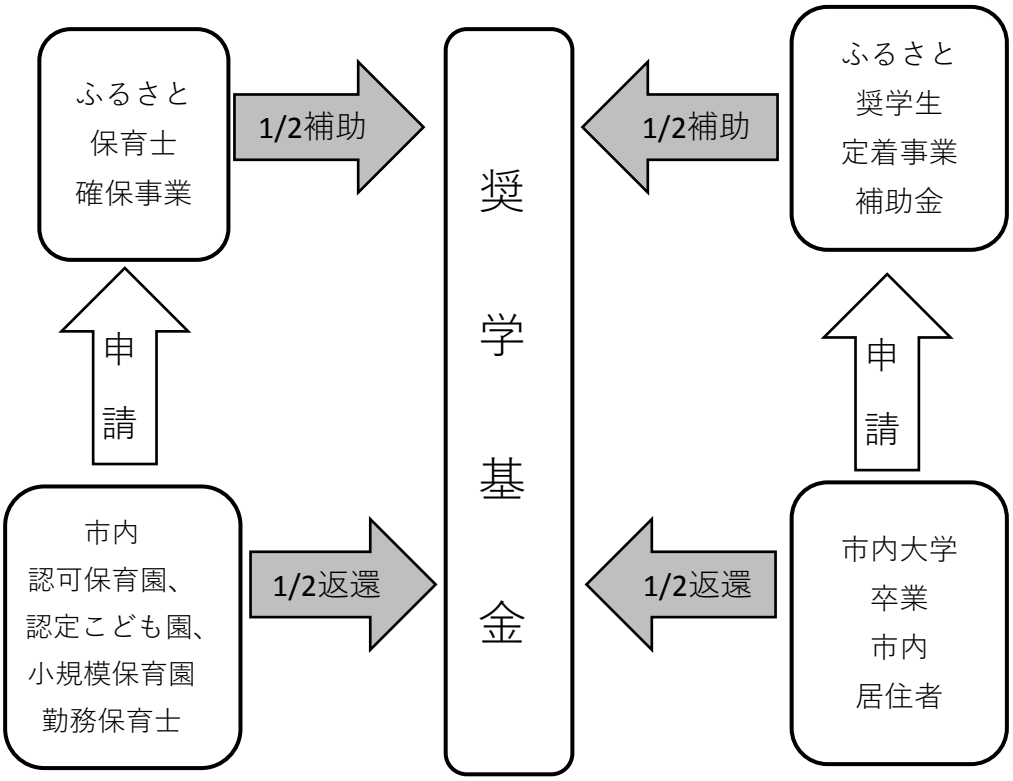
事業手法の詳細１

概略図…別紙のとおり

事業費内訳
11節
・消耗品費　20千円
12節
・通信運搬費　3千円
19節
・ふるさと保育士確保補助金　169千円
・ふるさと奨学生定着補助金　96千円

奨学金活用人材確保支援事業費

【花巻市奨学金】



平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104070	学校安全確保事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		479	479		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	318	306		-12
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	161	173		12

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

登下校時における児童生徒が被害者となる事件・事故を未然に防止するためには、家庭や地域の関係機関との連携が不可欠であることから、この事業を開始した。

事業概要

○交通安全体制整備
　スクールガード・リーダーによる学校巡回指導、スクールガード養成講習会

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

学校から、スクールガード及びスクールガードリーダーの熱心な活動により、日常の学校生活においても不審者への対応の仕方が定着してきており助かっているという声がある。

事業手法の詳細１

1　学校安全体制整備　479千円
・スクールガードリーダーによる学校巡回指導 248回
・スクールガード養成講習会の実施 6回

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104160	教科用図書採択事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,322	1,692		-2,630
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	4,322	1,692		-2,630

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

教科用図書の採択を円滑に進める必要があると考え、２市１町で構成する花巻・北上地区教科用図書採択協議会へ負担金を支出することとした。
教科書採択に伴う教育現場への影響の減少及び指導の充実を図る必要が生じた。

事業概要

○花巻・北上地区教科用図書採択協議会負担金
　小学校全教科と中学校社会（歴史）の教科書の採択のため、花巻・北上地区教科用図書採択協議会に負担金を支出
○教師用教科書および指導書の購入
　中学校道徳の教師用教科書および指導書を購入

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

事業手法の詳細１

１　花巻・北上地区教科用図書採択協議会負担金　200千円
　小学校全教科と中学校社会（歴史）の教科書の採択のため、花巻・北上地区教科用図書採択協議会に負担金を支出

２　教科用図書及び指導書の購入　1,492千円
　中学校道徳の教師用教科書及び指導書を購入

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104180	学校地域連携事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,660	2,660		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	2,660	2,488		-172
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	172		172

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを目指す必要がある。

事業概要

○運営委員会の設置
　関係機関・団体等との連携方策、地域の協力者の人材確保方策の検討等
○教育活動支援
　地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学校支援活動を実施

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

事業手法の詳細１

１　運営委員会の設置　60千円
　関係機関・団体等との連携方策、地域の協力者の人材確保方策の検討を行う。

２　教育活動支援　2,600千円
　3つの小中学校区に地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学校支援活動を実施する。

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	01	104190	小学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		88,493	605,420		516,927
財源内訳	国費	0	133,514		133,514
	県費	0	0		0
	地方債	43,200	447,500		404,300
	その他	0	1,800		1,800
	一般財源	45,293	22,606		-22,687

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成31年度　～　平成31年度

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理をする必要がある。

事業概要

○病害虫防除業務　2,154千円
　薬剤散布等によるアメリカシロヒトリ等の防除・校庭草木の収集及び処分
○補修資材　489千円
　校舎、校庭等の補修資材（砂、繊維ネット、側溝蓋等）購入
○小学校施設長寿命化　42,649千円
　外壁維持改修2校、屋内プール屋根改修1校、非構造部材耐震化1校、老朽化した放送設備の更新2校、老朽化した電話設備の更新1校、相撲場解体1校、身障者用トイレ改修1校
○消耗品　39千円
　学校用消耗品

担当部署	51100000　教育委員会　教育企画	担当課長	小原　賢史

意見・要望等の状況

・維持修繕等
　各学校からの施設要望に基づき現地調査を行い、優先度を勘案しながら実施する。

事業手法の詳細１

＜学校施設維持管理の課題＞
○施設の老朽化　　○各種要望への対応
○法面改修　　○耐震対策（非構造部材）

（１）施設維持修繕等
・学校施設点検等に基づく修繕の実施（遊具、消防設備他）
・日常生活で発生する修繕の実施
①施設修繕部品費　　39千円
　内容：学校要望への対応
②病害虫防除業務　　2,154千円
　内容：薬剤散布等によるアメリカシロヒトリ等の防除、校庭草木の収集及び処分
③補修資材　　489千円
　内容：校舎、グランド等への補修資材(砂、繊維ネット、側溝蓋等)の購入
（２）施設大規模改造
　施設大規模改造に基づく計画的な事業実施（各種要望への対応）
・外壁維持
・相撲場撤去
・プール屋根改修
・プール給排水管移設
・各種設備更新
①外壁維持改修　　11,067千円
　内容：校舎外壁維持修繕工事【花巻、矢沢】
②大迫小プール屋根改修工事　　18,213千円
　内容：屋内プール屋根の改修
③宮野目小学校屋外相撲場撤去　　1,012千円
　内容：経年劣化した相撲場の撤去
④放送設備更新業務　　5,756千円
　内容：経年劣化した放送設備の更新【桜台･石鳥谷】
⑤宮野目小学校電話設備更新業務　　2,754千円
　内容：経年劣化した電話設備の更新
⑥八幡小学校工作物（擁壁）建築確認申請業務　　176千円
　内容：建築確認申請
⑦花巻小学校身障者用トイレ改修業務　　1,815千円
　内容：オストメイト対応トイレに改修
⑧南城小学校プール給排水管移設業務　　473千円
　内容：流量調査
⑨湯口小学校屋外時計塔撤去業務　　154千円
　内容：経年劣化した屋外時計塔の撤去
（３）非構造部材耐震化対策
・屋内運動場棟照明器具落下防止
①宮野目小学校非構造部材耐震化（電気設備）工事　　1,229千円
　内容：H30年度繰越工事費に継ぎ足し（全体事業費6,303千円）

※事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料　　【　事後評価　】

担当部署　部名　教育部　　課名　教育企画課　　担当課長　小原　賢史

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	02	01	108510	**小学校施設維持事業(繰越)**

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		24,115	560,089		535,974
財源内訳	国・県	12,726	133,514		120,788
	地方債	10,800	418,800		408,000
	その他				
	一般財源	589	7,775		7,186

※特定財源の内訳

15020750-0101 学校施設環境改善交付金12,229
15020751-0101 冷房設備等特例交付金121,285(按分)　22010801-0101 学校施設418,800

事業期間　□ 単年度繰返　□ 期間限定　〔平成　　年度　　～　平成　　年度〕

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理をする必要がある。

事業概要　…目的を実現するための事業手法を記載すること

○非構造部材耐震化対策　　35,464千円
　非構造部材耐震化工事（若葉、宮野目、桜台、大迫）
○施設長寿命化（大規模改修）　　515,419千円
　空調設置工事（19校）
○校舎等維持補修　　9,206千円
　八幡小学校法面改修工事

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

・維持修繕等
　各学校からの施設要望に基づき現地調査を行い、優先度を勘案しながら実施する。

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

学校施設維持管理の課題

・耐震対策（非構造部材）
・教育環境の変化(夏期の高気温)

⑴【非構造部材耐震化対策】

・照明器具落下防止

非構造部材耐震化工事　35,464千円
　内容：照明器具落下防止
　①若葉小学校　　9,603千円
　②宮野目小学校　　5,074千円
　※工事費6,303千円のうち1,229千円はH31年度予算対応
　③桜台小学校　　11,220千円
　④大迫小学校　　8,184千円
　設計業務委託　　1,383千円

⑵【施設大規模改造】
施設大規模改造に基づく計画的な事業実施
（各種要望への対応）
・エアコン設置
・法面改修

エアコン設置工事　　515,419千円
【19校】
・エアコン設置工事　　508,831千円
・エアコン設置工事管理業務　　6,588千円

八幡小学校法面改修工事　9,206千円
　内容：崩落防止による法面の改修

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	01	104240	中学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		30,383	281,701		251,318
財源内訳	国費	0	60,251		60,251
	県費	0	0		0
	地方債	15,700	213,800		198,100
	その他	0	0		0
	一般財源	14,683	7,650		-7,033

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成31年度　～　平成31年度

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理をする必要がある。

事業概要

○病害虫防除業務　1,536千円
　薬剤散布等によるアメリカシロヒトリ等の防除・校庭草木の収集及び処分
○補修資材　80千円
　校庭の山砂購入
○中学校施設長寿命化　14,909千円
　老朽化し、欠損している外壁維持改修2校
　劣化している屋内運動場屋根の改修1校
○消耗品　36千円
　施設修繕部品

担当部署	51100000　教育委員会　教育企画	担当課長	小原　賢史

意見・要望等の状況

・維持修繕等
　各学校からの施設要望に基づき現地調査を行い、優先度を勘案しながら実施する。

事業手法の詳細１

＜学校施設維持管理の課題＞
○施設の老朽化
○各種要望への対応

（１）施設維持修繕等
・学校施設点検等に基づく修繕の実施（遊具、消防設備他）
・日常生活で発生する修繕の実施
①施設修繕部品費　　36千円
　内容：学校要望への対応
②病害虫防除業務　　1,536千円
　内容：薬剤散布等によるアメリカシロヒトリ等の防除、校庭草木の収集及び処分
③補修資材　　80千円
　内容：グランド用の砂の購入

（２）施設大規模改造
　施設大規模改造に基づく計画的な事業実施（各種要望への対応）
・外壁維持
・屋内運動場屋根塗装
・物置設置
①外壁維持改修　　3,740千円
　内容：校舎外壁修繕業務【矢沢、湯本】
②花巻北中学校屋内運動場屋根塗装工事　　10,685千円
　内容：屋内運動場の屋根の塗装
③花巻北中学校物置設置業務　　484千円
　内容：物置設置

※事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料　　【　事後評価　】

担当部署　部名　教育部　　課名　教育企画課　　担当課長　小原　賢史

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	03	01	108520	**中学校施設維持事業(繰越)**

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		26,773	265,140		238,367
財源内訳	国・県	8,484	60,251		51,767
	地方債	17,300	200,100		182,800
	その他				
	一般財源	989	4,789		3,800

※特定財源の内訳

15020751-0101 冷房設備等特例交付金60,251(按分)
22010801-0101 学校施設200,100

事業期間　□ 単年度繰返　□ 期間限定　〔平成　　年度　～　平成　　年度〕

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理をする必要がある。

事業概要　…目的を実現するための事業手法を記載すること

○施設長寿命化（大規模改修）　265,140千円
　空調設置工事（11校）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

・維持修繕等
　各学校からの施設要望に基づき現地調査を行い、優先度を勘案しながら実施する。

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

学校施設維持管理の課題 》》 ・教育環境の変化（夏期の高気温）

【施設大規模改造】
施設大規模改造に基づく計画的な事業実施
（各種要望への対応）
・エアコン設置

エアコン設置工事　265,140千円
全11校
・エアコン設置工事　261,792千円
・エアコン設置工事管理業務　3,348千円

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	03	104290	大迫中学校校舎改築事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		74,444	78,626		4,182
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	59,800	78,100		18,300
	その他	0	0		0
	一般財源	14,644	526		-14,118

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成31年度　～　平成31年度

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

大迫中学校は、昭和４３年に建築された学校であり建築後４５年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要

○大迫中学校自転車置場棟整備ほか　59,182千円
　自転車置場棟建築工事
　屋外照明等設置工事
　屋外環境付帯工事（ロータリー舗装、外周通路舗装、側溝整備（外周通路周辺）、駐車場砂利敷）
　石碑移設業務

担当部署	51100000　教育委員会　教育企画	担当課長	小原　賢史

意見・要望等の状況

事業手法の詳細１

＜大迫中学校校舎改築事業＞

●事業概要
　校舎：RC造2階建　2,796㎡（昇降口渡り廊下2含む）　／　建築単価見込　294,000円/㎡
　屋体：　S造1階建　1,175㎡　／　建築単価見込　361,000円/㎡

①自転車置場棟建築工事　　6,028千円
②屋外照明等設置工事　　16,346千円
③屋外環境付帯工事　　36,397千円
④石碑移設業務　　220千円
⑤積算システム使用料　　191千円

※事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料　　【　事後評価　】

担当部署　部名　教育部　　課名　教育企画課　　担当課長　小原　賢史

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	03	03	108530	**大迫中学校校舎改築事業(繰越)**

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		284,669	19,444		△ 265,225
財源内訳	国・県	93,077			△ 93,077
	地方債	190,500	19,400		△ 171,100
	その他				
	一般財源	1,092	44		△ 1,048

※特定財源の内訳

22010801-0101 学校施設19,400

事業期間　□ 単年度繰返　□ 期間限定　〔平成　　年度　～　平成　　年度〕

部重点施策における目標

夢と希望をもち、たくましく生きぬく子ども達を育む学校教育の充実

事業開始の背景・経緯

大迫中学校は、昭和４３年に建築された学校であり建築後４５年が経過し、老朽化が著しい状態であること、改築を前提としていることから耐震補強を行っていないため安全確保のため早期に状況を改善したい。

事業概要

○大迫中学校屋外環境付帯工事　19,444千円
　法面整備
　階段設置
　中央部通路舗装
　側溝整備（中央部通路周辺）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

大迫中学校校舎改築事業

●事業概要

校舎：RC造2階建　2,796㎡（昇降口渡り廊下2含む）　／　建築単価見込≒294,000円/㎡

屋体：　S造1階建　1,175㎡　／　建築単価見込≒189,100円/㎡

大迫中学校屋外環境付帯工事　　19,444千円

平成 31 年度事業説明資料　　【　事後評価　】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業ｺｰﾄﾞ	事業名
一般	10	03	03	108530	**大迫中学校校舎改築事業(繰越)**

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること　　【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は１文章程度にとどめること。】

項　　目	H26	H27	H28	H28→H29繰越	H29	H29→H30繰越	H30	H30→H31繰越	H31	H26－H31(計)
現況測量・用地測量	5,600									5,600
基本設計		22,032								22,032
地質調査		5,440								5,440
実施設計(校舎等)		60,048								60,048
屋外環境実施設計		5,832					1,836			7,668
市道拡幅実施設計			4,968		5,362					10,330
柔剣道場改修設計							1,944			1,944
補助監理（校舎棟・屋体）			12,960	6,102	8,640	6,102				33,804
補助監理（ｸﾗﾌﾞﾊｳｽ）							1,728			1,728
校舎改築工事			475,392		316,928					792,320
給水、下水道接続工事										
解体工事		8,961		54,885	119,023					182,869
屋内運動場改築工事				222,591		225,316				447,907
自転車置場整備工事									6,028	6,028
屋外環境舗装新設等工事										
屋外環境グラウンド等整備工事										
ｸﾗﾌﾞﾊｳｽ改築工事							56,212			56,212
屋外附帯工事								19,444	36,397	55,841
屋外照明設置工事									16,346	16,346
柔剣道場改修工事										
学校･体育備品整備					33,371		11,265			44,636
建築確認等手数料			493	348	188	73				1,102
樹木伐採・移植等業務			5,992							5,992
屋内体育館耐震診断調査業務			2,403							2,403
備品等移設業務					3,771		1,265			5,036
補償費					4,744					4,744
その他			1,416	743	2,583	598	194		411	5,945
合計	5,600	102,313	503,624	284,669	494,610	232,089	74,444	19,444	59,182	1,775,975
国庫				93,077		61,030				154,107
起債（地方債）		31,800	480,000	190,500	441,100	161,800	59,900	19,400	58,700	1,443,200
その他										
一般財源	5,600	70,513	23,624	1,092	53,510	9,259	14,544	44	482	178,668
過年度国庫清算										

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104790	小中連携強化事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		84	75		-9
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	84	75		-9

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

不登校生徒の出現状況や学力の定着に課題が見られ、中１ギャップの解消と９年間を見越した学力の向上をさらに推進する必要があることから、小学校と中学校との連携による小中連携教育を支援する。

事業概要

○実践校の取組支援
　小中連携実践校を指定し支援

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

事業手法の詳細１

１　実践校の取組支援　75千円
・小中連携実践校を指定し、小中連携教育を支援する
・実践校：太田小学校、笹間第一小学校、笹間第二小学校、西南中学校
・取組内容：小中合同の研修会や情報交換会の実施、児童生徒間交流、家庭学習強化週間の設定、小中合同地区懇談会の開催等

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104800	はなまき夢応援奨学金事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,016	506		-510
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,016	506		-510

特定財源の内訳

事業期間		単年度繰返	○	期間限定	平成31年度　～　平成31年度

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

「返還義務のない奨学金について」の市長へのはがきを契機に、貧困の連鎖を解消する一助になればと考え自立に向けた支援が必要な方への奨学金制度の構築を行うこととなった。

事業概要

○はなまき夢応援奨学金　506千円
　対象：生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部
　　在籍者のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等
　　に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者
　貸与額：学資金　月額20,000円

担当部署	51150000　教育委員会　学務管理	担当課長	佐々木　晋

意見・要望等の状況

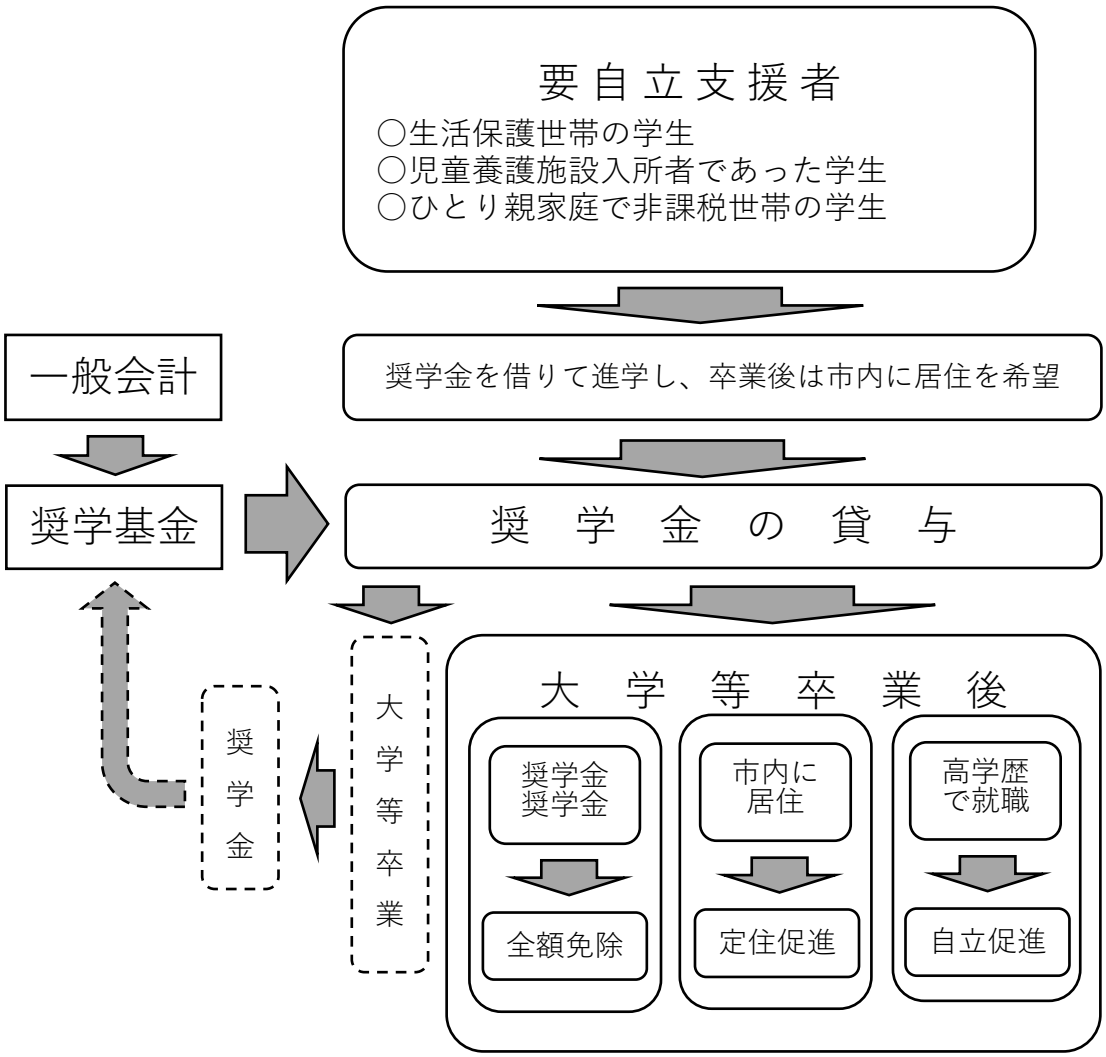
H28.10.20市長へのはがき「返還義務のない奨学金について」

事業手法の詳細１

概略図…別紙のとおり

事業費内訳
11節
・消耗品費　　20千円
12節
・通信運搬費　　6千円
28節
・繰出金　　480千円（20千円×2人×12月）

はなまき夢応援奨学金事業費



平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104810	学校図書館支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		2,408	2,420		12
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,408	2,420		12

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

教育環境を充実する。

事業開始の背景・経緯

　平成27年「学校図書館法」が改正され、学校司書の配置および資質向上が努力義務とされたが各校の配置が進まない現状にあり、花巻市においては「こども読書活動推進計画」に基づき、学校司書設置への支援および学校図書館等または読書ボランティアの資質向上を図るもの。

事業概要

○学校図書館巡回支援
　各小中学校を巡回しての図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を実施

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

事業手法の詳細１

１　学校図書館巡回支援　2,420千円
　学校図書館支援員を配置し、各小中学校を巡回して、図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を行う。

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	4,537		4,537
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	4,537		4,537

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

地域が主体となった個性あふれる地域づくりを支援します。

事業開始の背景・経緯

岩手県立大迫高等学校は、大迫地域唯一の後期中等教育機関であり「地域とともに歩む大迫高校」が、地域の活性化に果たす役割が大きい。新入学者21人以上という存続要件を満たすための入学者増に資する事業を展開する。

事業概要

○高校生おおはさま留学生の受け入れ　4,538千円
　高校生おおはさま留学生の受け入れ　1人

担当部署	22290000　大迫支所　大支(教育)	担当課長	黒 沼 寿 夫

意見・要望等の状況

地域住民や各団体から岩手県立大迫高等学校の存続を求める声がある。また、支所市長執務においても岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会から、大迫高等学校生徒確保に対する支援の要望などが出ている。

事業手法の詳細１

岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業《新規》　4,538千円

１．高校生おおはさま留学生の受け入れ　4,538千円（皆増）
　　高校生おおはさま留学生の受け入れ　1人

○高校生おおはさま留学生に係る経費　4,538千円

(1) 謝礼　102千円
・報償費（生活支援員謝礼）　3,500円×延べ29日（2人）＝101,500円

(2) 需用費　184千円
・印刷製本費（募集チラシ）　1,000枚×167円×1.1＝183,700円

(3) 委託料（1人分）　4,252千円
・人件費（寮長・調理員）　8,000円×30日×12月＝2,880,000円
・寮費（寮費）　44,400円×12月×　1人＝　532,800円
・備品費（洗濯機・ハイベット（ロフト）・机・いす）
86,200円×1人＝　86,200円
1,792,600円×1.08＋1,706,400円×1.1＝3,813,048円

・給排水設備増設　388,000円×1.08＝419,040円

・屋外コンセント増設　18,519円×1.08＝20,000円

《参考》
●高校生おおはさま留学生に係る保護者負担　480千円
・寮費（食費1人当たり）　40,000円×12月＝480,000円

平成31年度

事業説明資料　　【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104900	部活動適正化促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	3,258		3,258
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	2,118		2,118
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	1,140		1,140

特定財源の内訳

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～

部重点施策における目標

学力・体力を高める

事業開始の背景・経緯

H30年に国及び県から示された部活動に関するガイドライン（方針）に則り、成長期の生徒の部活動と休養のバランスを取ることや教員の負担を縮減して本来業務の指導に専念できる職場環境を整えることが課題となっている。（H30は学校業務改善調査研究事業として実施）

事業概要

○部活動指導員の配置
　実技指導や大会引率を行う部活動指導員を中学校に配置

担当部署	51190000　教育委員会　学校教育	担当課長	佐々木　健一

意見・要望等の状況

H29年6月市議会定例会で、照井省三議員の一般質問に対して教育長が「教職員のワーク・ライフ・バランスに配慮して部活動等の適正化を推進してまいりたい」と答弁している。

事業手法の詳細１

１　部活動指導員の配置　3,258千円
　実技指導や大会引率を行う部活動指導員を中学校に配置
　10校の中学校に計20人